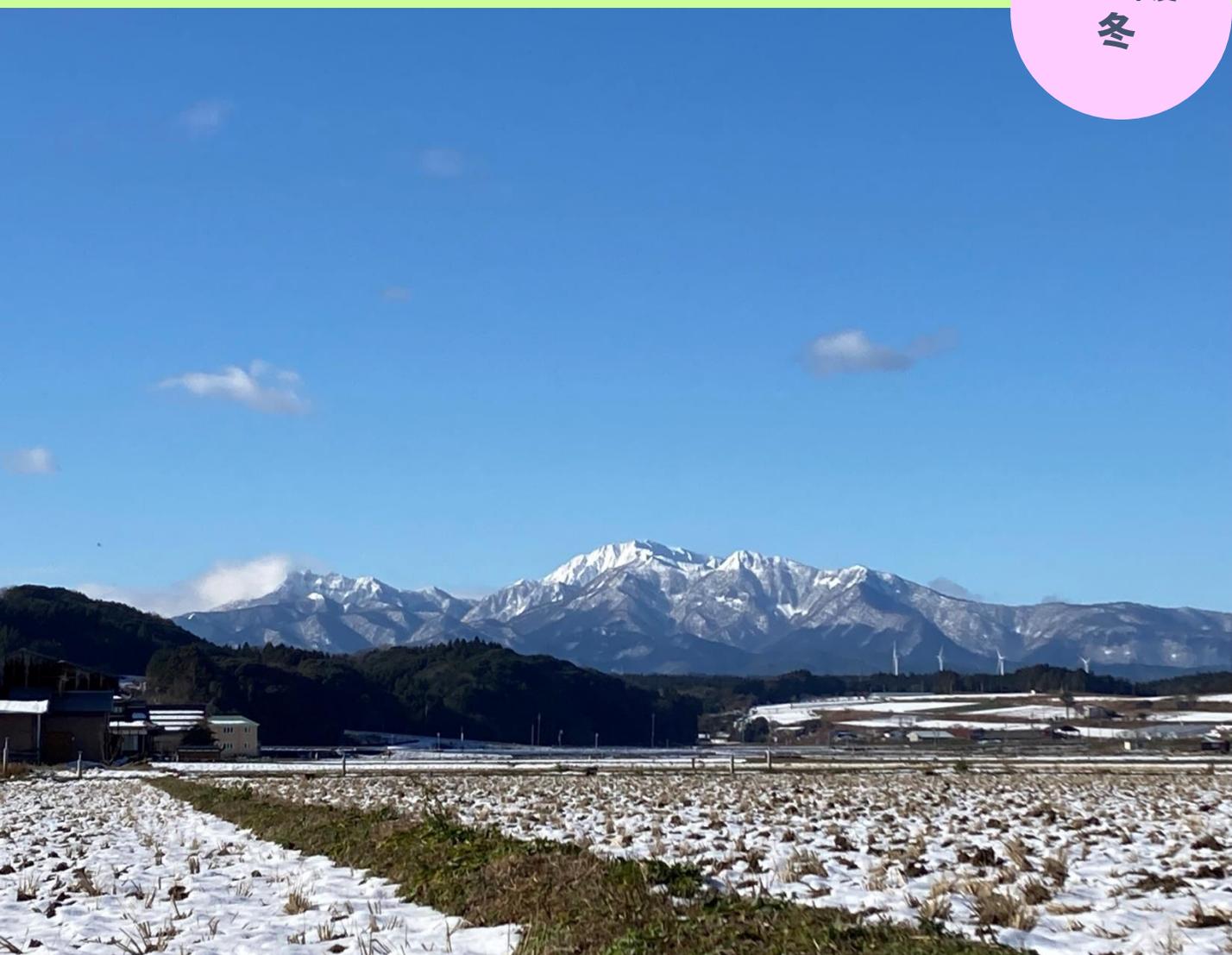


ふじいろ

2024年度
冬



蒜山 冬の装い～春の息吹

- ◆頭痛ちぢんぷいぷい～「ずつう外来」へ行こう！～
- ◆リハビリテーション通信「アロママッサージのご紹介」
- ◆立春まつりを開催しました
- ◆けんしんCafe「受けた後が肝心！健康診断」

頭痛ちんぷいぷい～「ずつう外来」へ行こう！～



牧田：今回はふじいろの特集で「頭痛外来」についてインタビューをしていきたいと思います。

それでは外来主任の坂田さん、よろしくお願いします。

早速ですが「頭痛外来」とはどのような外来なんですか？

坂田 Ns：はい。「ずつう外来」は、頭痛で悩んでいる患者さんを専門的に治療していく外来です。

牧田：あの…、坂田さん。頭痛が「ずつう」になっていますけど…。

坂田 Ns：「ずつう」の方が患者さんに優しいかなと思って。どう思います？藤井先生。

藤井 Dr：そうだね。「頭痛」って、文字通り「痛い」ってイメージが強くて、見てるだけで頭痛が酷くなるよね。

「ずつう」になると、不思議と柔らかく優しい印象になるでしょ？ところで牧田さんは飛行機に乗ったことあるかな？

牧田：ありますけど…。

藤井 Dr：頭痛の辛い時って、雨雲の中にいる時に似てるんだよね。

坂田 Ns：この間、久しぶりに飛行機に乗ったのですが、雨雲の中に入るとすごく揺れるし、ゴーゴ音はするし、すごく不安でした。でも雨雲を抜けると、青空がぱーっと広がり、飛行機の揺れと騒音もサーッとなくなり、なんだかホッとしました。

牧田：雨雲の中がずっと続いていると辛いですね。

坂田 Ns：そんな患者さんに寄り添い、治療を進めていくのが、「ずつう外来」なんですね。

藤井 Dr：「頭痛くらい大丈夫。痛み止め飲んでたら治るから。」と頑張ってしまう頭痛持ちさんって結構沢山いるんだよ。そんな頭痛持ちさんに、当院の「ずつう外来」へ気軽に足を運んで欲しいと思っているんだ。

牧田：分かりました。じゃあ、どんな時に「ずつう外来」に受診したらいいですか。

藤井 Dr：片頭痛も我慢することで治療抵抗性の慢性型になることが分かっているんだ。あと薬の開発が進んで治療効果の高い新薬が次々と登場し、選択の幅も広がっているんだよ。だから、もし今、少しでも頭痛に悩まされているのなら、「ずつう外来」に来てくれるといいね。

坂田 Ns：脳神経外科と神経内科の2名の頭痛専門医に診てもらえるのも安心ですね。

牧田：そうなんですね。調べてみたら、日本頭痛学会認定頭痛専門医って鳥取県中部には当院しか在籍していないんですね…。「ずつう外来」を受診したいと思ったら、どうしたらいいですか。



坂田 Ns：ゆうやけ外来にて、藤井教雄先生が第2、第4水曜日と森望美先生が第1、第3水曜日の16時から「ずつう外来」を開いています。初診患者さんは第2、第4水曜日の17時まで受け付けていますし、電話での受診相談も行っています。一人でも多くの頭痛で悩む患者さんが、「ずつう外来」に来てくださると嬉しいです。

藤井 Dr：頭痛でお悩みの皆様、気兼ねなく声をかけて下さい。晴れ渡った青空のような、頭痛のない生活を送れるようにサポートさせていただきたいと思います！



(左 森望美先生、右 藤井教雄先生)

リハビリテーション通信

活動報告

～ アロママッサージのご紹介～



アロママッサージを施行する様子



昨年の5月より、エステティシヤンの経験がある職員によるアロママッサージの提供を始めました。

現在、毎週月曜日・木曜日の週2回、入院患者さんやそのご家族、また介護医療院のご利用者を対象に施術をしています。

様々なアロマオイルの中から、その時の気分に合わせて選んでいただいたものを使用して、指先から肘関節までのマッサージを行っています。マッサージの提供を始めて半年を経過し、リピータも出るほど好評を得ています。

これからも皆様の生活に少しでも癒しを提供できるよう日々努めてまいります。



立春まつりを開催しました

介護医療院ふじい

介護医療院ふじいでは、2月3日に立春まつりを開催しました。利用者代表のあいさつから始まり、体操や歌を歌った後に厨房職員による恵方巻作りの実演を行いました。利用者さんからは「美味しそう～。」「はやく食べたい!」との声が聞かれ、待ち遠しそうな様子が伺えました。出来上がった具沢山の恵方巻は昼食として召し上がられ、喜んでいただきました。

午後からは職員が鬼に扮して各部屋を訪れました。利用者さんに豆に見立てたお手玉を撒いていただき、無病息災を祈って福を呼び込みました。



昼食メニュー



恵方巻作りの実演



鬼が登場! 豆まきをしました



けんしんCafe



受けた後が肝心！健康診断

健康診断の結果をもらったあと、じっくり見る方もあれば、そうでない方もあるかと思います。年度の終わりに、今年度の健康診断結果を見返してみませんか。

再検査、要精密検査と言われても、必ずしも病気というわけではありませんが、病気の可能性を否定できません。病気かどうかを判断するためにさらに詳しい検査を受ける必要があります。

治療が必要と言われた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

健康診断の結果の異常の有無にかかわらず、お酒・たばこ、運動習慣など生活習慣の見直しをする機会として、健康の保持増進に活かしましょう。

評価	判定
A：異常なし	この検査の範囲では異常ありません
B：軽度異常	わずかに基準値をはずれていますが、日常生活に差し支えありません。
C：再検査、生活改善、経過観察	日常生活に注意を要し、経過の観察を必要とします。生活習慣の改善を心掛けましょう。 再検査をうけて、改善していない場合医療機関の受診が必要です。
D：要精密検査、要治療	医療機関での精密検査あるいは治療が必要です。
E：治療中	現在の治療を継続してください。

(人間ドック学会の判定区分)

病院理念

いつでも誰にでも安全で質の高い医療を提供し、
地域住民に必要とされる病院になるよう全力を尽くします。
――病む人の気持ちになって、
最善・最高の医療を提供する――

社会医療法人 仁厚会

 藤井政雄記念病院

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43-1

TEL: 0858-26-2111(代表)

E-mail: fujii-hp@med-wel.jp

HP: <https://www.med-wel.jp/fujii/>

藤井政雄記念病院

検索